



自衛隊栃木地方協力本部

作新学院大学祭で広報展 ～自衛隊の魅力を最大限PR～



賑わう自衛隊ブースの様子



制服試着をして近SAM前で記念撮影をする学生達



ブースを出展している学生たちも自衛隊ブースを訪れた。



学生の出店ブースに地本キャラクター「りく」が訪問



久々の再会！親子で記念撮影
(支援部隊 × 栃木地本)

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子 / 陸佐）は、11月8日（土）宇都宮市内に所在する作新学院大学で行われた『作新祭』に、第12高射特科隊（相馬原）の支援を受け、広報展を実施した。

当日は秋晴れのさわやかな天候の中、終日大勢の来客者で賑わっていた。広報展では、93式近距離地对空誘導弾発射装置、1／2トトラック、F-4スロトル・操縦桿、階級章の展示及び制服試着を行った。

93式近距離地对空誘導弾発射装置（近SAM）の展示では、初めて装備品の迫力に魅入る学生たちで人だかりができ、興味を持った多くの来場者が集まり、思い思いのポーズをとって自衛官と記念撮影し「初めて見ました！カッコいい！」と好評を得ていた。また、文化祭で出店している学生らがブースを訪れ、隊員と楽しそうに話をしている姿が多く見られた。自衛隊説明ブースにも多くの学生が話を聞きに集まり、アンケートは70件以上、志願票を2件獲得するなど大きな募集効果を得られた広報展となった。

栃木地本は、「今後も、学校との連携と信頼関係を継続して、自衛隊が魅力ある職業であることを積極的に伝え、志願者獲得に繋げていく」としている。



自衛隊説明の様子



笑顔で学生たちを出迎える
第12高射特科隊隊員